



HOTEL 1-2-3 前橋マーキュリー

前橋市

住所：前橋市大友町 3-24-1
TEL：027-252-0111
URL：http://www.hotel123.co.jp/maebashi



WEB サイト

● 事業者紹介

前橋の老舗ホテル「マーキュリーホテル」から「ホテル 1-2-3 前橋マーキュリー」として、2017年12月にリニューアルオープン。料理に地元農家の新鮮野菜を使用するなど、地域に根差したホテル運営を行っています。



● 経緯・背景

地域に根差したホテル運営を目標に定め、地域活性化・貢献と自然環境へのインパクトも重要視しています。特にホテル業は、自然環境への負荷が回避しにくい問題として「食品ロス」「ライフライン（水・電力・ガス等）の使用」「清掃関連」等があり、それらを総合的に会社全体で解決していく必要性があります。そのために、SDGsの取組、考え方、目標設定を活用し、推進していきます。また、自然環境への負荷だけでなく、会社を運営するうえで必要不可欠な「人」にも配慮した会社の仕組みづくりにも、SDGsの目標を活用していきます。

● 具体的な取組や成果

食品ロスから雇用問題まで、商品・サービス・仕組みづくりで地域社会と連携し、多方面の分野の課題を総合的に解決します

- 環境・グリーン
 - ・環境に配慮した「エコプラン」として「客室清掃・アメニティ交換（シーツやタオル等）不要」の宿泊プランを提供し、省資源・省エネルギー運動に貢献しています。
 - ・館内レストランでは「ゼロロスプロジェクト」として、食材ロスを可能な限りゼロに近付ける社内目標を掲げ、調理や保存方法の見直しを行い、徹底した食品ロス対策を実施しています。（例：仕込み段階における食材の小分け、冷凍方法の工夫等）
 - ・スタッフオペレーション（労働時間）を改善し、余分な労働時間を短縮。「労働時間＝電力消費（事務所利用時における電力消費等）」と考え、間接的な省エネ活動と労働環境の改善を総合的に進めています。
 - ・館内電気のLED化、節電を積極的に行い、使用電力量の削減を徹底しています。
- まちづくり・コンパクトシティ
 - ・前橋市内の飲食店協会と連携し、地域飲食店応援・貢献・活性化プロジェクトとして、キッチンカーの出店スペースを提供。コロナの影響を受けている、地域の飲食店をバックアップする仕組みづくりを企画し実施しています。
- 健康・ヘルスケア
 - ・医療・交通機関等と連携し、県外の方向けに当ホテルを宿泊拠点とした、医療関連特化ツーリズムを計画。「単なる医療診察に行く」のではなく、+αとして「群馬の文化・自然・歴史」を知ってもらう仕組みづくりを企画し、提供を予定しています。
 - ・健康プログラムの一環として、料理長による「健康にいい料理」の料理動画を配信しています。
- 伝統技術・文化
 - ・「御城印（御朱印お城Ver.）」をホテル内のコワーキングスペースにて販売し、群馬のお城・歴史・文化の認知拡散に貢献しています。
 - ・ホテル独自の「御城印イベント」を企画し、県内外の方々に群馬の歴史や文化を知ってもらう機会を提供しています。
- 地域資源（地産地消・地産外商）
 - ・レストラン・宴会メニュー等、当ホテルで提供している料理に「地元産の野菜や肉」を積極的に使用しています。
 - ・ホテル内イベントにおいては、地元農家と連携し「野菜の直売」も実施しています。
- 国際貢献
 - ・ベトナムでも店舗展開しているため、外国人（特にベトナム人）を日本人と区別することなく、積極的に雇用しています。
 - ・群馬県内で外国人を多数雇用している企業と連携し、「外国人にとって居心地のいい場所」「また日本で働きたい」「日本に旅行するなら群馬県」といった、ポジティブな印象や思い出を抱いてもらえる仕組みづくりとして、外国人向けの企業間交流会を企画しています。

当社にとってのSDGsビジョン

広く貢献できるホテル事業で企業としての責任を果たす

SDGs 関連活動は、弊社にとってCSRの意味合いでも重要視しており、「自社がよければいい」ではなく、地域社会全体がよくなっていくことを念頭におき、様々な観点から「点（自社）」で捉えず「円（地域／広範囲）」で捉え、地域社会全体を活性化していきます。

今後の展望と求めるパートナー像

様々な分野の目標に向かい地域社会と共に問題を解決

SDGsに取り組むことにより、企業全体として地域、従業員、環境、健康、文化、国際といった、様々な目標（ゴール）を設定し、目標に沿った会社、社会、環境づくりを推進していきます。